

## 本格的な梅雨空で気温も高い……草丈の伸びに注意 コシヒカリの穂肥は生育診断に基づき適切に！

### － 重点事項 －

- ◎ 幼穂形成期以降は、田面の固さを維持しながら飽水管理を行う（高温時は水の更新）。
- ◎ コシヒカリは生育診断を行い、適期・適量の穂肥施用を行う。
- ◎ カメムシによる斑点米発生防止のため、畦畔・農道の草刈りを実施する。

## 1 6月30日現在の生育状況【普及センター調査ほ】

【コシヒカリ】※平均は6地点の水稲作付面積に応じた加重平均

調査地点	田植日	草丈 (cm、%)			茎数 (本/m <sup>2</sup> 、%)			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)		
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差
山北/大毎	5/ 8	54	108	113	445	94	89	9.5	+0.1	-0.5	37.1	+0.1	+1.1
朝日/川端	5/12	56	110	117	496	103	107	10.4	+0.4	-0.3	37.3	-2.7	+0.7
村上/鋳物師	5/19	45	90	96	353	71	78	9.9	+0.0	+0.0	37.0	+1.0	-1.1
神林/牛屋	5/10	54	113	117	561	122	120	10.0	+0.4	+0.1	33.9	-2.1	-1.7
荒川/名割	5/ 8	39	90	99	355	99	66	9.2	-0.2	-0.4	36.6	-2.4	-1.7
関川/下関	5/10	44	94	97	399	100	70	9.3	-0.3	-0.7	38.1	-0.9	-1.7
平均	5/11	49	102	108	455	103	93	9.8	+0.1	-0.2	36.4	-1.6	-0.9

○指標値並みの生育量を確保し、順調です。葉色は、ほ場間差・地域差が大きくなっています。7月は気温が高くなる予想です。今後の草丈の伸びに注意しましょう。

## 2 7月9日現在の出穂期予想(5/10 植え) ～「3日程度早い」～

品種名	出穂期 (予想)	穂肥時期(出穂前日数)				合計施肥量 (チツ kg/10a)
		1回目		2回目		
コシヒカリ	8月 7日	7/20～7/23	(18～15)	7/28	(10)	1～3
こがねもち	8月 1日	7/14～7/17	(18～15)	7/22	(10)	1～3

※出穂期は気象条件で大きく変動するので、今後の情報に注意してください。

※施肥量は一般栽培のめやすであり、生育状況に応じて時期や量を調整しましょう。

## 3 中干し終了後の水管理 ～根への酸素補給を忘れずに！～

○コシヒカリも出穂 1 か月前を過ぎたので、中干しを終了して浅水の間断かん水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化及び地耐力の維持に努めましょう。

○幼穂形成期以降は、ほ場を乾かさないうち注意しながら、飽水管理（水がなくなったらかん水を繰り返す方法）を行いましょ。

※低温が予想される場合は、低温に弱い早生品種では、10センチ程度の深水管理を行って幼穂を保護しましょう。

※高温が続く場合は、水の更新で地温低下と酸素補給を図りましょう。

根を大切に！



## 4 コシヒカリの穂肥は「生育診断」に基づいて的確に！

\*早生品種は1回目の穂肥施用の7~10日後に2回目の穂肥を施用しましょう。

\*コシヒカリの穂肥施用に当たっては、必ずほ場の「生育診断」を行いましょ

回	時期・幼穂長・外観	診断ポイント	簡易葉色板	穂肥施用例
1 回 目	【出穂 18 日前】 ・幼穂長:0.5~1 cm ・止葉が抽出開始	●草丈:75 cm以下 ●茎数:420 本/m <sup>2</sup> 以下 50 株植え:28 本/株以下 60 株植え:23 本/株以下 ●葉色:32 以下(SPAD) 葉色板単葉は 4 ●上位葉が立っており、ほ場全体の葉色が均一にさめている	「淡」に近い (栄養不足) ⇒積極施用① 「適」に近い (栄養適切) ⇒適量施用② 「濃」に近い (栄養過剰) ⇒遅め控えめ③	【窒素分量】 ①積極施用 1.2~1.5kg/10a ②適量(通常) 1.0~1.2kg/10a ③控えめ(減量) 0.8kg/10a 以下
2 回 目	【出穂 10 日前】 ・幼穂長:8 cm以上 ・止葉と次葉の 葉耳間長±0 cm	●草丈:90 cm以下 ●下位節間長: (第 5+第 4) 15 cm以下 ●葉色:32 以下(SPAD) 葉色板単葉は 4	「淡」に近い ⇒積極施用① 「適」に近い ⇒適量施用② 「濃」に近い ⇒減量施用③	

### 〈基肥一発肥料を使用した場合の葉色低下への対応について〉

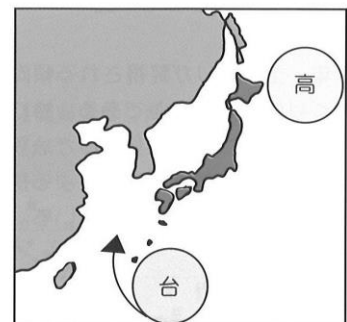
- 2回目の穂肥時期(出穂 10 日前)までに、簡易葉色板で「淡」に近くなる(周辺のは場より明らかに葉色が薄い)場合、速やかにチッソ成分で1 kg/10a 程度の追肥を行いましょ(3 割減栽培の化学由来チッソ分量に注意しましょ)。
- ※猛暑になった場合、追肥しないと肥切れする可能性が高い。

## 5 輪番給水の対応

### ~フェーン時は予め湛水準備~

- 台風によるフェーンが想定される場合は、速やかに湛水しましょ。また、輪番取水をしている地区では、取水計画を確認して事前に湛水しておくことが重要で

【気象図とフェーン予想】



- 台風が日本海の南海上から接近し、三陸沖から北海道北東に高気圧がある場合。

## 6 カメムシの住み家を無くしましょ

### ~斑点米被害防止対策~

- 近年山間部や個人防除地域などを中心に、カメムシ類の被害による斑点米の発生が多くなっています。
- 6月29日にカメムシ類による斑点米の多発生に関する注意報が発表されました。
- 出穂 10 日前までに畦畔・農道の草刈りを行い、カメムシの住み家(穂や実を付けた雑草)を無くしましょ。
- アカスジカスミカメは本田内の雑草でも繁殖しましょ。ヒエ、ホタルイ等はできるだけ抜き取りをしましょ。
- 個人防除の場合は、出穂後の薬剤散布を徹底しましょ。

草刈り重点推進期間は7月2日(土)から7月18日(月・祝)まで